



発信年月日：平成27年5月1日

所属部課	課長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-23-1137
経済観光部 観光課	水津 俊彦	観光振興係 係長 坂田 正和		FAX 0837-22-6487
件名	長門市の平成26年観光客数について			

このたび、長門市の平成26年の観光客動態調査結果がまとまりましたので、その概要を下記のとおり報告します。

記

1 観光客数の動向について

(1) 年間観光客数

本市の平成26年中(1月～12月)の観光客数は**1,151,732人、対前年比100.9%、10,474人の増**となりました。

長門市を訪れる県外客数の伸び悩みや夏場の天候不良による減少があったものの、全国やきとリンピック等の新たなイベントの開催により県内客が増えたこと、さらに、情報発信の強化・充実により、元乃隅稲成神社や千畳敷などの知名度の向上につながり、全体として観光客数は増加したものと推定されます。

年別観光客数

(単位：千人、%)

区分	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
観光客数	1,039	955	1,241	1,195	1,229	1,194	1,163	1,146	1,216	1,188	1,141	1,152
対前年比	107.4	92.0	—	96.3	102.9	97.2	97.4	98.5	106.1	97.7	96.1	100.9

(注) H16までは、長門地区の数値(三隅・日置・油谷地区を除く)

(2) 日帰り・宿泊別、県外・県内別観光客数

【日帰り・宿泊別】

- ・日帰り客は **690,999人、対前年比107.3%、46,915人の増** となりました。
- ・宿泊客は **460,733人、対前年比92.7%、36,441人の減** となりました。
なお、全観光客数に占める宿泊客の割合は40.0%でした(前年の割合は43.6%)。

【県外・県内別】

- ・県外客は **653,400人、対前年比98.1%、12,862人の減** となりました。
- ・県内客は **498,332人、対前年比104.9%、23,336人の増** となりました。
なお、全観光客数に占める県外客の割合は56.7%でした(前年の割合は58.4%)。

※観光客に依然として「安・近・短」志向が強いことが窺える結果となりました。

(3) 地区（観光地）別

①長門地区：26年897,116人（25年890,452人）対前年比100.7%、6,664人の増加

金子みすゞ記念館入館者、湯本温泉の宿泊客数は減少しましたが、全国やきとリンピック in 長門の開催、また、俵山しゃくなげ園やイベントの開催等により俵山地区への観光客数が増加したことにより、地区全体として微増となりました。

※主な観光地

【青海島】：26年189,031人（25年195,808人）対前年比96.5%、6,777人の減少

【湯本】：26年359,011人（25年399,707人）対前年比89.8%、40,696人の減少

【俵山】：26年215,817人（25年200,563人）対前年比107.6%、15,254人の増加

②三隅地区：26年67,523人（25年69,320人）対前年比97.4%、1,797人の減少

宗頭文化センターの利用者数はスポーツ合宿利用により増加したものの、湯免温泉の利用客数が減少したことから、地区全体で減少となりました。

③日置地区：26年87,376人（25年87,278人）対前年比100.1%、98人の増加

黄波戸交流センターの利用者は若干減少したものの、千畳敷や菅無田公園を訪れる観光客が増加したことにより、地区全体で横ばいとなりました。

④油谷地区：26年99,717人（25年94,208人）対前年比105.8%、5,509人の増加

夏場の悪天候により海水浴場やキャンプ場の利用客が減少となったものの、情報発信の強化により多くのメディアに取り上げていただいた反響から、元乃隅稻成神社・龍宮の潮吹・棚田の観光客数が増え、地区全体として増加しました。

観光客数の推移(H18～)

